

# ④ Web履修登録

## 履修登録画面

ログイン後、画面左上部 ①「menu」を選択します。



学籍詳細情報の画面が表示されたら  
③～⑧に必要事項を入力、選択します。  
※入試出願時のデータです。必ず確認してください。

The screenshot shows the '学籍詳細情報' (Student Information) registration form. It is divided into several sections:

- 学籍詳細情報**: Includes fields for 'カナ氏名' (Kana Name), '英字氏名' (English Name), and '生年月日' (Date of Birth).
- 郵便番号** (Postal Code): 813-0004
- 住所** (Address): 福岡県福岡市東区松香台xxxx
- 携帯電話番号(本人)** (Mobile Phone Number): Field 4
- 電話番号** (Phone Number): 092-000-0000
- 携帯E-mailアドレス(未登録)** (Mobile Email Address): Field 5
- 住居区分** (Residence Type): Field 6, with options like '自宅', 'おもにJ.R.', 'おもにバス', etc.
- 所要時間** (Required Time): 10 分
- 勤務先情報(本人)** (Employment Information): Fields for name and phone number.
- 学内の友人** (Friends): Fields for up to three friends' student IDs.
- 授業料収納納付書送付先** (Tuition Payment Destination): Field 7, with '本人' selected.
- 緊急連絡先情報** (Emergency Contact Information): Fields for name, kana name, and phone number for parents and other contacts.
- 保証人情報** (Guarantor Information): Field 8, with 'NN NN' entered for the guarantor's name.

住所等を変更したい場合は、  
「住所変更登録申請」を  
行ってください。  
(P20参照)

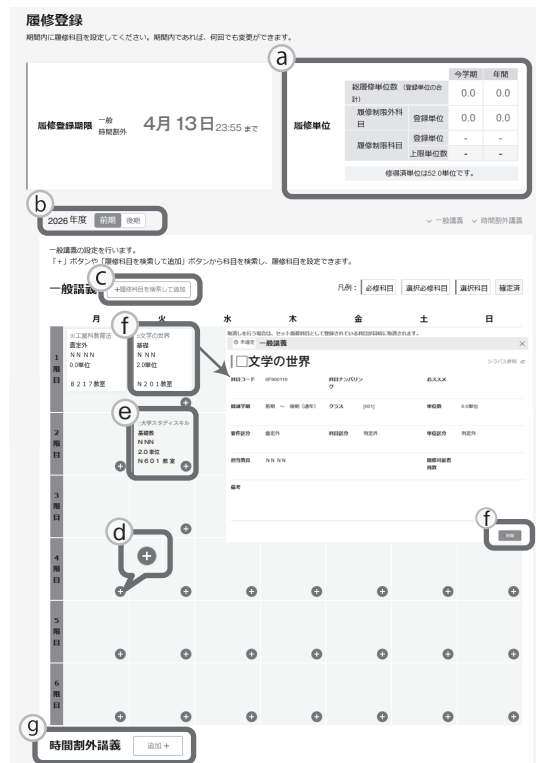
登録して履修登録へ  
進む

# 履修科目登録

受講する科目の履修登録をします。



「menu」の「履修登録」を選択します。



## 操作説明

- a 履修単位数の合計が表示されます。
- b 「前学期履修登録時」は「前学期」「後学期」の切換えができます。
- c 開講曜日・時限がわからない科目は「科目名検索」を選択します。
- d 開講曜日・時限がわかる科目は「+」を選択します。
- e 既に履修が確定している科目(通年科目等)は、グレー色で塗られています。履修登録変更可能な科目は履修科目を選択した際に、「削除」が表示されます。
- f 科目を取消す場合は、削除したい履修科目を選択し、「削除」を選択します。ただし確定済みの科目は取消できません。
- g 時間割外講義の履修登録を行います。



- c +履修科目を検索して追加 を選択し検索すると開講されている科目が表示されます。科目名の一部を入力し検索することもできます。
- d 右下の+マークを選択した画面には曜日、時限が表示されます。検索すると特定の曜日、時限に開講されている科目が表示されます。



- h ラジオボタンをチェックし「登録」「続けて登録」ボタンのどちらかを選択すると「シラバス」が表示されます。
- i シラバスの内容を確認し、「登録」ボタンを選択すると履修登録ができます。

# ⑤ 履修登録科目確認・シラバス参照

## 履修科目一覧確認

履修登録した時間割を確認します。

履修登録が正しく行われていないと授業に出席していても単位の修得ができません。

①「スケジュール・予約」から②「スケジュール」を選択し、③「時間割」を選択



④「個人時間割出力」を選択すると⑤「時間割」が表示されます。

### 時間割参照

2026年度

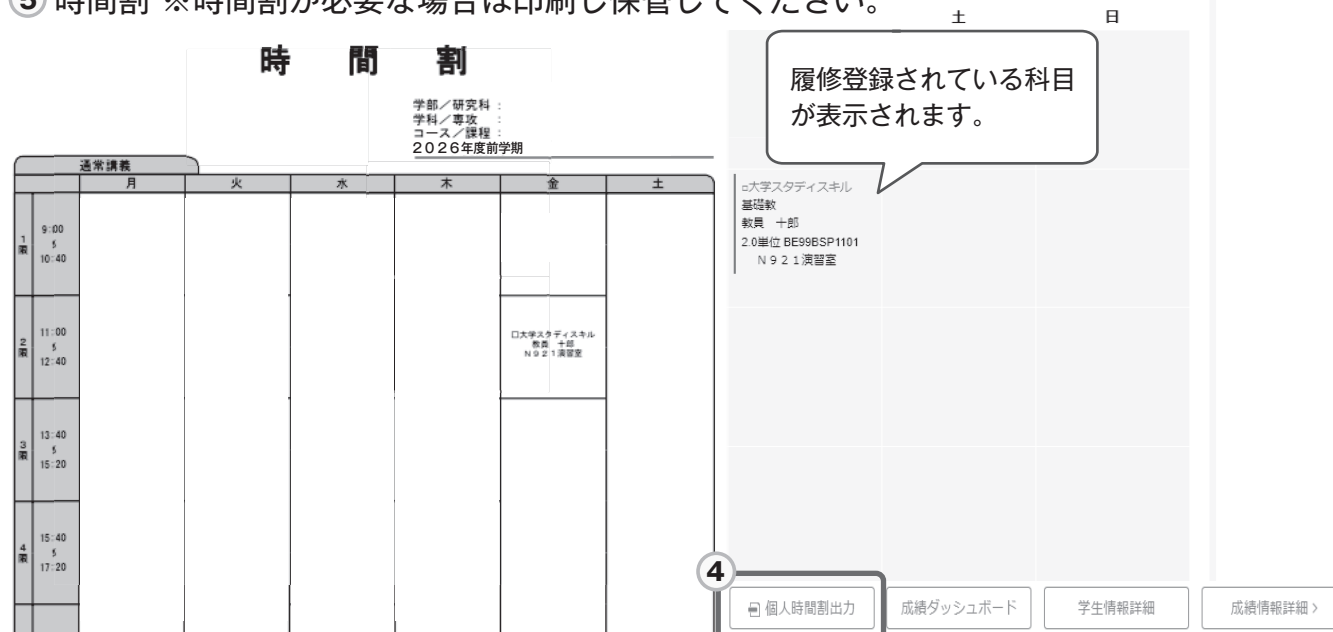
前期

後期

一般講義 時間割外講義 集中講義

凡例: 必修科目 選択必修科目 選択科目 確定済

⑤ 時間割 ※時間割が必要な場合は印刷し保管してください。



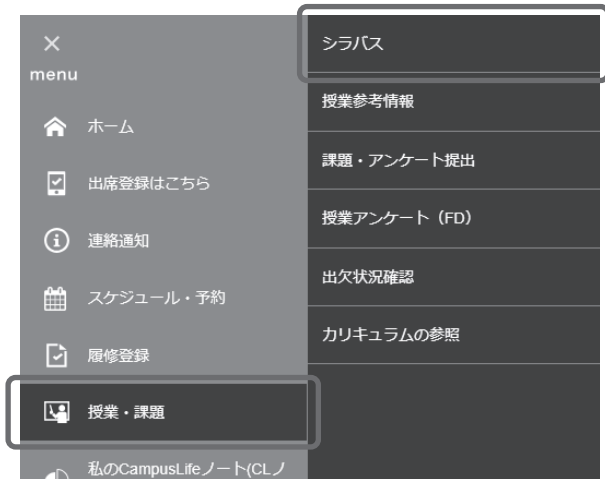
# シラバス参照



## シラバスとは

シラバスとは、講義の内容や進め方を示す計画書のことです。

「授業・課題」から「シラバス」を選択すると「講義概要・計画」「評価基準・方法」「受講制限」などを確認できます。



「授業・課題」の「シラバス」を選択します。



## 科目ナンバリングとは

学修の段階(難易度)や順序等を確認する番号です。詳細は P. 29 を参照してください。

j

タイトル、カテゴリ、講義(科目)名、担当教員名、科目ナンバリング、フリーワードのいずれかを入力し、「検索」ボタンを選択します。

k

表示したい講義を選択します。

L

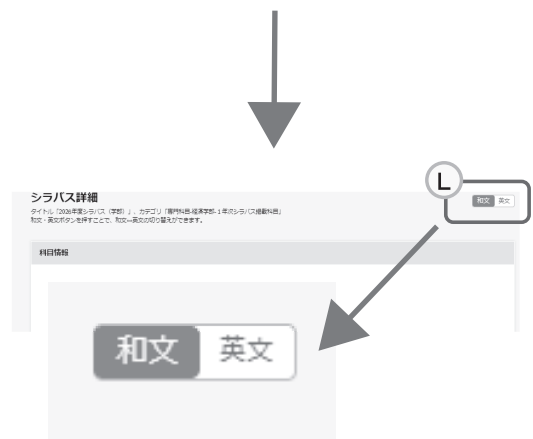
シラバス詳細画面の右上にある切り替えボタンで【和文】を選択すると「日本語」のシラバスが表示されます。

### シラバス検索画面

検索画面のスクリーンショット。検索条件として「2026年度シラバス(学部)」と「1年次シラバス(複数科目)」が設定されている。検索ボタンは丸で囲われている。

### 検索結果

講義名	担当教員	実務家教員	クラス	タイトル	カテゴリ
○憲法 A	教員 四郎		[101]	2026年度シラバ...	専門科目-経...
○日本経済史 A	教員 五郎		[101]	2026年度シラバ...	専門科目-経...





# コンピテンシーとは

・コンピテンシーとは、本学の学生として卒業時に身につけていることが期待される能力（九産大生コンピテンシー）を示したものです。

①大きく6つのキーコンピテンシーに分類され、それぞれに②能力③具体的な行動内容が定められています。

シラバスでは各講義を履修することで、獲得が期待できる③具体的な行動の内容が1～3つ割当てられています。

## 九産大生コンピテンシー

① キーコンピテンシー	② 能力	③ 具体的な行動の内容
① 知性・実践力	教養と専門的知識を適切に活用する能力	① 得た知識や技能を基に自分の考えを組み立て、問題を正しく捉え、課題を考えることができる（問題発見力）
		② 課題の解決策を目指し困難に向き合うことができる（チャレンジ力）
② 行動力（熱意）	論理的に思考し判断・行動する能力	③ 課題や目的に沿って、必要な情報を収集・整理できる（情報収集力）
		④ 論理的思考に基づき分析・解析し、適切に表現（記述・口述）できる（論理的思考力）
		⑤ 客観的根拠に基づき判断し、目的のために意欲的に行動することができる（規範的判断力）
③ 人間力（豊かな人間性）	主体的に他者と協力する能力、多様性を認めて変化し続ける力	⑥ 時代の変化に主体的に向き合って関わり合うことができる（主体的行動力）
		⑦ 自分の役割を理解し他者との関わりや共存に欠かせない対人関係を築くことができる（対人関係力）
④ 共創力	修得した知識・技能を活かし、他者と協働し創造力を発揮する能力	⑧ 未知の課題に対し、自分なりの答えや解決策を見つけ出すことができる（問題分析力）
		⑨ 自分なりの解決策を実行し、価値を生み出していくことができる（課題解決力）
⑤ 情報社会への適応力	情報技術を活用する能力	⑩ 溢れる情報から、必要な情報を検索し、取捨選択することができる（情報判断力）
		⑪ 数値・図表等の数量情報を解析・表現することができる（データ分析力）
		⑫ 自らの思考・判断のプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーションとコミュニケーションを行うことができる（情報処理力）
		⑬ 多様な情報ツールの機能を理解し、情報端末上で情報技術を活用することができる（ICTスキル）
⑥ グローバル対応力	多様な人々とコミュニケーションする能力	⑭ 自分の考え方をしっかり相手に伝えることができる（意思伝達力）
		⑮ 異文化を理解して思考し、柔軟に行動することができる（異文化理解力）
		⑯ 他者と情報共有して課題を解決するための対話ができる（コミュニケーション力）



# ルーブリックとは

・ルーブリックとは、講義における学修の達成度を測定する基準表です。

シラバス内にあるルーブリックの  ON  OFF

を選択すると、ルーブリックの表示、非表示が切り替わります。

初期表示は、ルーブリックが表示されます。

ルーブリック

評価項目	ルーブリック				
	ON	OFF			
理解度	授業内容を扱った自主的な字句が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標を理解しているが、授業内容の理解に不足がある	到達目標に達していることが認められる	到達目標に達していない
論理的思考力	授業内容に関連する事例や判例を整理して理論的に体系化でき、考察を明確させることができる意見を論理的に展開できる	授業内容に関連する事例や判例を整理して理論的に体系化でき、意見を論理的に展開できる	授業内容に関連する事例や判例を整理して理論的に体系化でき、自分の意見を論理的に展開できる	授業内容に関連する事例や判例を整理し、体系化ができる	授業内容に関連する事例や判例を整理し、体系化ができない
課題解決力	専門的な知識を業社会での実践に役立てることができる	応用的な課題について専門的な知識を用いて説明できる	専門的な知識について、基本は理解しており、説明できる	専門的な知識の獲得・修得に取り進んでいるが、説明できるレベルではない	専門的な知識に熱心がない、またはその獲得・修得に取り進んでいない
読解能力（予習）	自ら進んで予習動画を観て録れている	予習動画を十分に理解し、他人に説明できる	提示した予習動画の理解にあまり進んでいない	提示された動画は予習するが、理解が不十分である	提示された動画の予習が不十分である